



牛久市のリサイクルルール(古紙編)

古紙を制するものはリサイクルを制す

牛久市の資源物で一番難しい分別が古紙です。古紙は種類も量も豊富で、可燃ごみに混ぜられている資源物で最も多くを占めています。つまり、この古紙の分別をマスターすれば、私たちのリサイクルを大きく前進させることができると言えます。

☆どうして古紙をリサイクルするの？

人類は古くから紙を記録媒体として使用してきました。インターネットや携帯電話などの電子データが普及した現在でも紙の使用量は減ることはありません。私たちの生活になくてはならない物であり、最も大量に使用している資源物が紙です。紙はパルプを原料としており、パルプは木材から作られています。紙の使用量が増えるということは、木材を消費するたために森林を多く失うことになりま

☆古紙とは？
牛久市の古紙とは、「新聞紙」雑

紙「段ボール」「牛乳パック類」の4種類を指し、これらを民間の再生工場で再生紙としてリサイクルしています。ただし、古紙はリサイクルできないもの(禁忌品)が混ざりやすく、これらの判断も難しいのも事実です。特に難しいのは「雑紙」の分別。雑紙は、新聞紙などのほかの3種類以外の古紙のすべてを指しているため、雑紙を適正に判断することが古紙リサイクルのポイントとなります。雑紙



はメモ用紙や名刺程度の大きさでも問題ありません。ごみ箱の隣に雑紙入れを用意しておき、雑紙を分けるようにすると、皆さんのご家庭から出るごみは大きく減るはず

～古紙類別のポイント～

新聞紙	チラシも一緒に
ダンボール	断面が波になっている こん包用の厚紙
牛乳パック類	洗って干して束ねて出す
雑紙	雑誌や上記以外の紙全般(禁忌品を除く)

☆古紙のリサイクルで注意することとは？

紙には多くの種類があり、その

中にはリサイクルができないもの、混ぜてはいけないものがあり、これらは「禁忌品」と呼ばれています。禁忌品とは、複写紙や封筒窓口のビニール、レシートなどの感熱紙、シールや裏がビニールでコーティングされているものなどを言います。禁忌品が資源に混ざると、それらを手作業で除かなければならず、リサイクルの品質も著しく低下してしまいます。また、雨などにぬれることや汚れているもの、にの強いものもリサイクルすることができません。ガムテープで縛ることについてもお問い合わせを多くいただきますが、ガムテープで止めると一つ一つをはがさなくてはいけないことやガムテープが張り付いて余分な紙までごみとなってしまうことなどから、簡単にはがすことができず、ビニールひもで縛っていただくようご協力をお願いします。

缶ジュース、缶ビール、缶詰など、食品の保存方法として缶製品は、以前から私たちの食生活の身近にあります。次回はこれら空き缶のリサイクルルールについてお知らせします。